



## ヨネックスレディスゴルフトーナメント

日程：6月1日～6月3日

会場：ヨネックスカントリークラブ（新潟県）

## 1st round：

「ほけんの窓口レディース」以来、3試合ぶりの出場となった「ヨネックスレディス」だが、ひどい鼻かぜに悩まされ、コンディション調整に苦心しながら大会を迎えることに。初日のスコアは2バーディ・3ボギーの「73」。「今日のプレーを振り返ってみるとパターの調子があまり良くなかったですね」と悔しい気持ちを吐露したが、ギャラリーからの熱い声援に感謝。「新潟の試合は今大会だけなので、頑張らないといけないと思っています。今日は天気もよく多くのお客さんが訪れていました。明日からはもっといいプレーを見せなければいけない」。今季は国内メジャー第1戦「ワールドレディスチャンピオンシップ サロンパスカップ」で勝利を挙げているが、前半戦でもう1勝を狙っている。最後は「美味しいお米をたくさん食べて頑張りますよ（笑）」と笑顔を見せた。

## 2nd round：

オーバーパーに終わった初日。課題であったパティングを調整するために、朝の練習ではショートパットを入念に打ち込んだ。この日の同伴プロは、イ・ボミ、若林舞衣子。アウトスタート第2組、7時9分と早いティオフとなったが、注目組を多くのギャラリーが見守っていた。前半を終えて2バーディ・ノーボギーと安定したスコアメイク。だが13番パー5でまさかのボギー。それでも17番で取り戻し、最終18番を迎える。スタジアム型の18番グリーン。約3mのバーディパットのチャンスとなったが、アドレスで集中した際に、予期せぬシャッター音が…。一度仕切りなおしたものの、決められず。一瞬悔しさを見せたが、健闘をたたえてイ・ボミと熱い抱擁を交わした。

「初日よりは全体的に良いゴルフでした。初日にミスが多かったパティングも改善できたので、アンダーパーで回ることができましたね。一緒に回った、イ・ボミさん、若林さんは同級生で、いろいろな話をしました。若林さんは新潟が地元。朝早いにもかかわらず、多くのお客さんがついてくれましたね」。3名ともが1988年生まれの今年30歳。話も弾んだようで語り口からも楽しさが伝わってきた。

38位タイから17位タイに。最終日はさらなる浮上が期待される。「最終日も多くの方がいらっしゃるはず。お祭りの雰囲気になると思う。その雰囲気のなかで良い流れを掴みたいと思います」

## Final round：

首位とは5打差。伸ばすしかない最終日は、前半は1バーディ・1ボギーと停滞したものの、サンデーバックナインは4バーディ・ノーボギー。首位には届かなかったものの、トータル5アンダー6位タイに浮上し、新潟のファンに存在感を見せつけた。ホールアウト後、アテストを終え、クラブハウス前に戻ると、熱いギャラリーからサインの要望が…。笑顔で対応する姿に、ファンは柵ごしに押し合いへし合い。それを見て行なった行動は…両手を上に上げ、降ろす、を繰り返す“一列になってください”のポーズ。長い列となった即席サイン会を一人ひとりの顔を見ながら、最後まで丁寧に対応した。

「ファンの皆さんに協力していただきました。私も楽しんでいましたよ。私は5時からクラブハウスにいましたが、そのときから試合を待ちわびているゴルフファンの方々が多くいました。初日に話しましたが、新潟はこの試合のみ。だからかも知れませんが、パワフルですね。良いプレーを見せるために、今日は頑張りました」

次週は4日間大会の「宮里藍 サントリーレディース」。「4日間大会の経験値はあるので、コンディション調節はできると思う。今日はいいプレーで締めることができたので、来週に必ずつながると思います」。新潟のファンから大きなパワーを受け取り、来週は六甲国際ゴルフ倶楽部で最高の結果を目指す。

順位	選手名	スコア	1R	2R	FR
1	大山 志保	206	70	68	68
2T	勝 みなみ	210	69	75	66
2T	上田 桃子	210	66	75	69
2T	大出 瑞月	210	72	69	69
2T	木村 彩子	210	70	69	71
6T	大里 桃子	211	75	71	65
6T	申 ジエ	211	73	70	68
6T	西山 ゆかり	211	71	70	70
6T	安田 彩乃	211	71	69	71
6T	木戸 愛	211	72	68	71